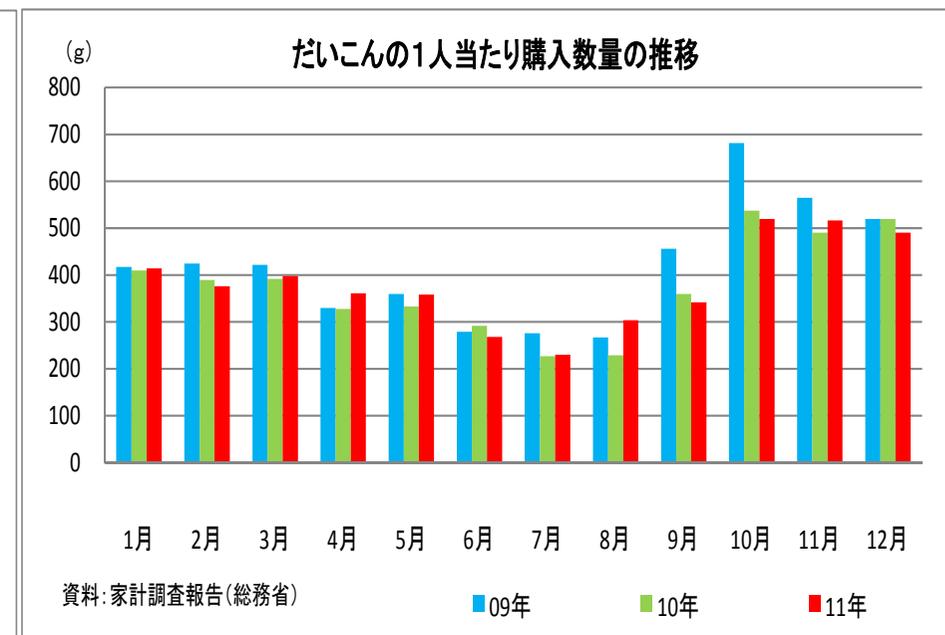
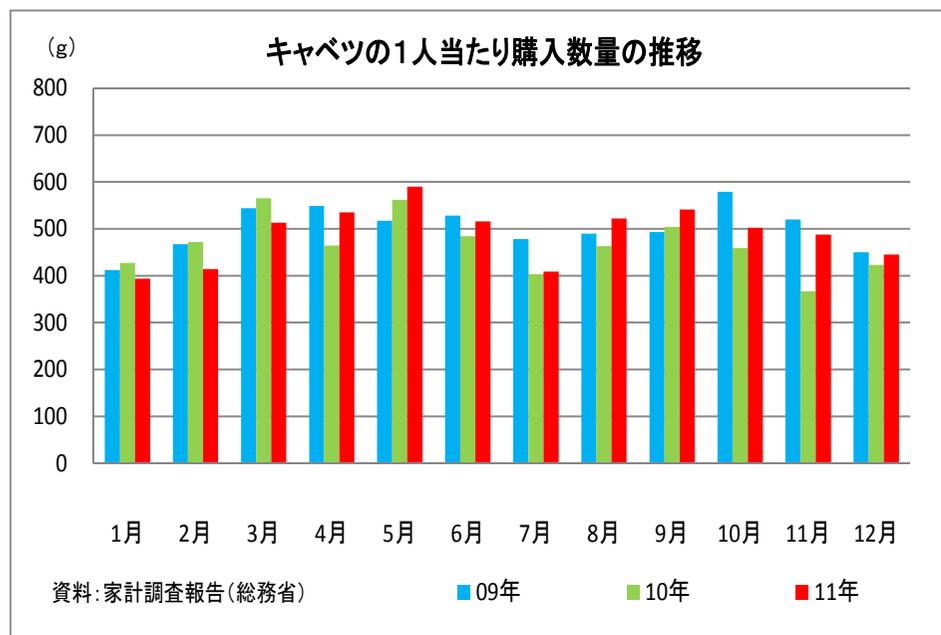
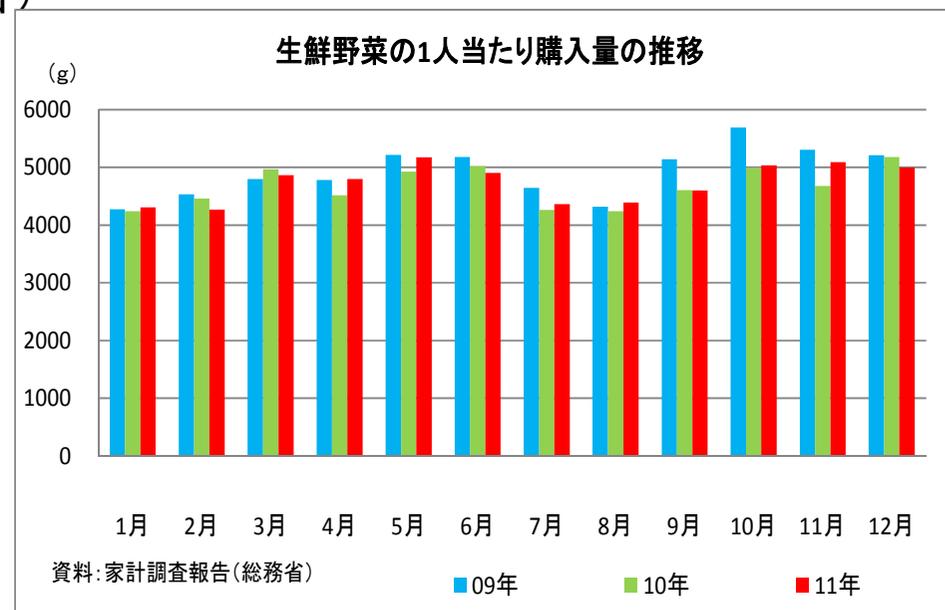


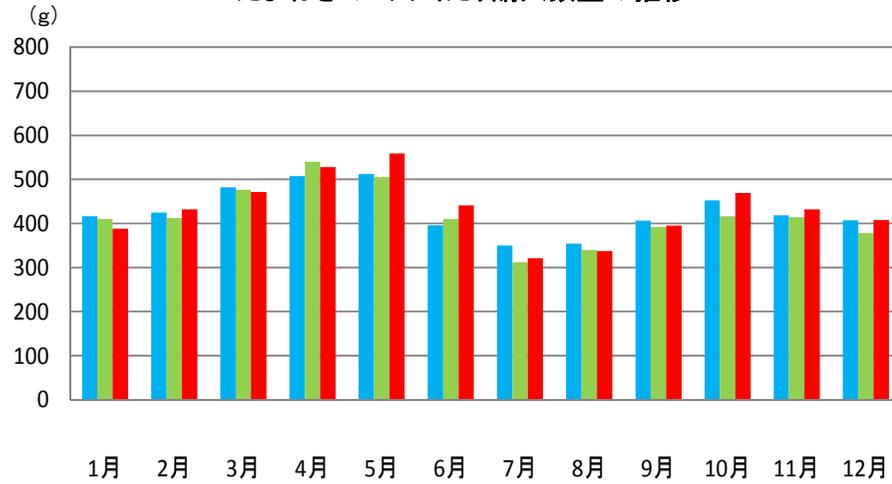
野菜の消費関連資料

① 1人当たり購入数量の推移(家計調査報告)

- ・ 生鮮野菜全体の購入数量を見ると、4月と5月は、春野菜の価格が高騰した前年を上回って推移。
- ・ 7月以降も、順調な生育により価格が落ちついたことから、前年を上回って推移。
- ・ 12月は、一部品目において、低温等の影響により出荷量が減少し、価格が高騰したことから、前年を下回った。
- ・ 品目別には、だいこんやはくさいの購入数量が夏場に減少する傾向にある。



たまねぎの1人当たり購入数量の推移



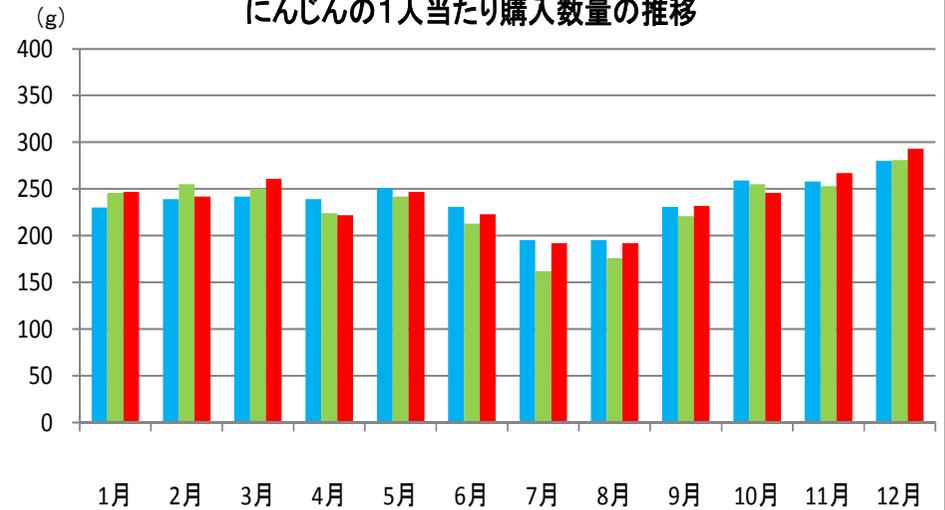
資料:家計調査報告(総務省)

■ 09年

■ 10年

■ 11年

にんじんの1人当たり購入数量の推移



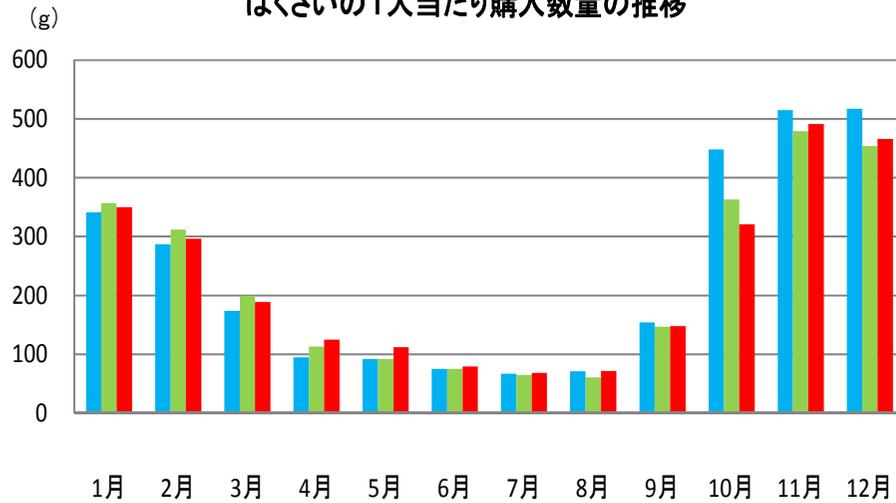
資料:家計調査報告(総務省)

■ 09年

■ 10年

■ 11年

はくさいの1人当たり購入数量の推移



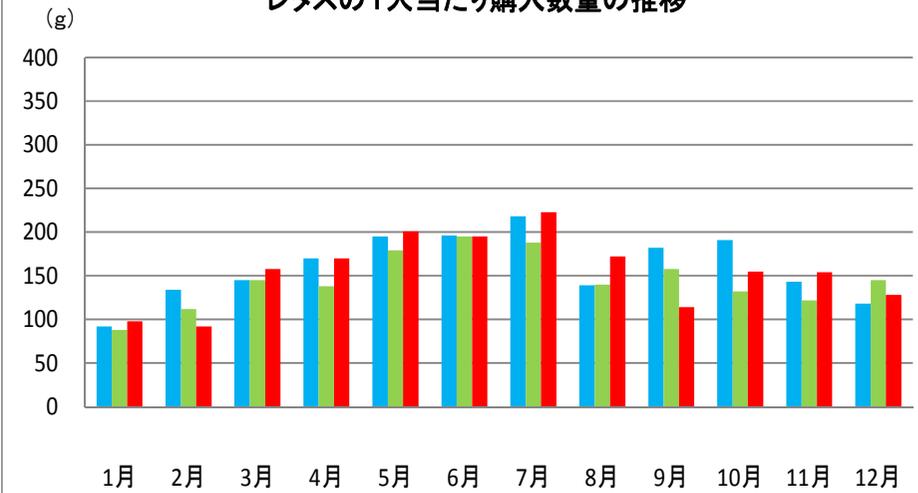
資料:家計調査報告(総務省)

■ 09年

■ 10年

■ 11年

レタスの1人当たり購入数量の推移



資料:家計調査報告(総務省)

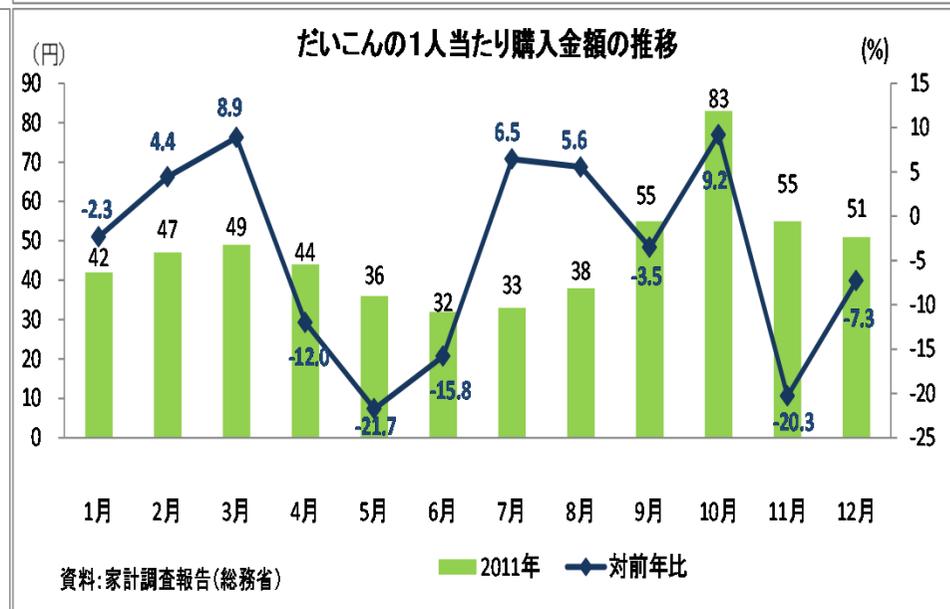
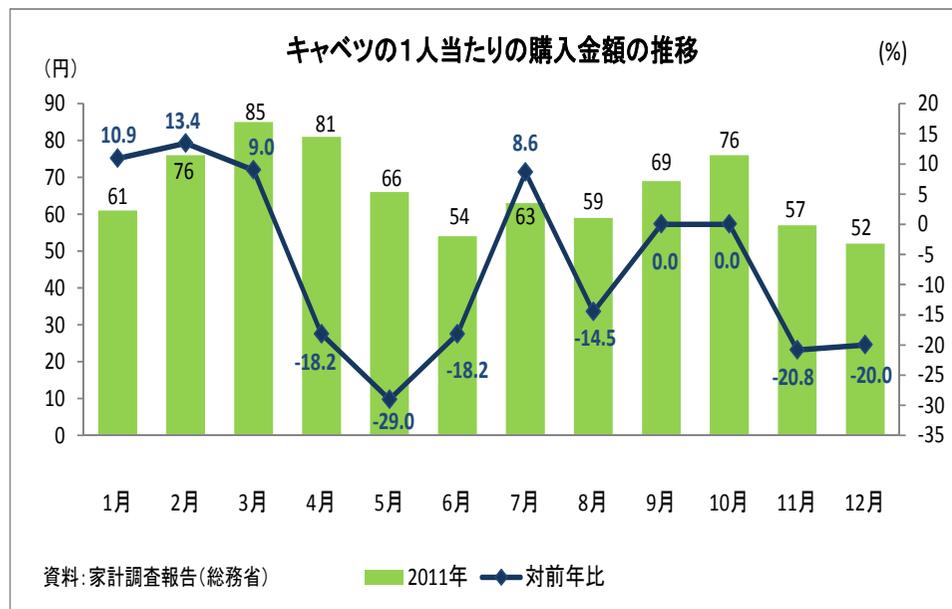
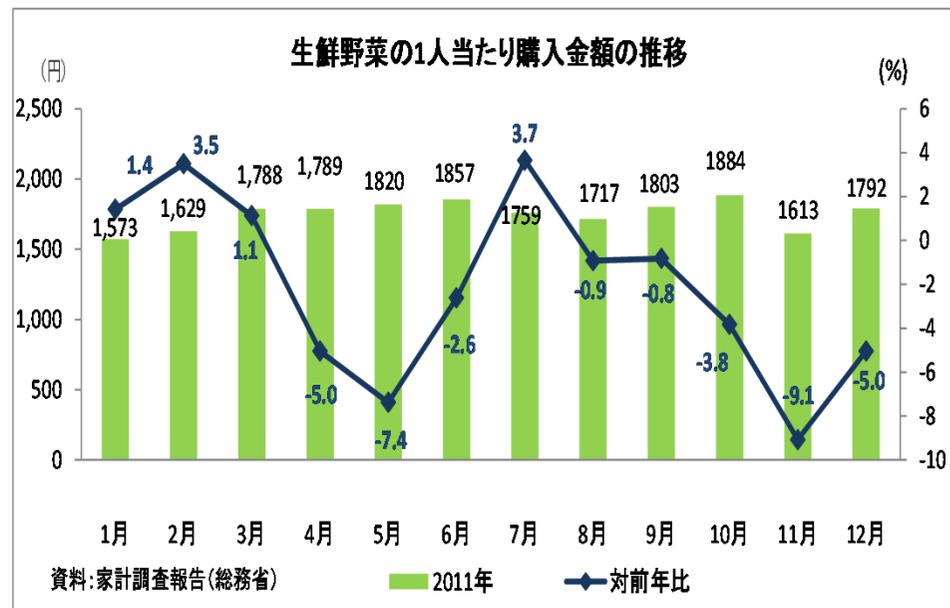
■ 09年

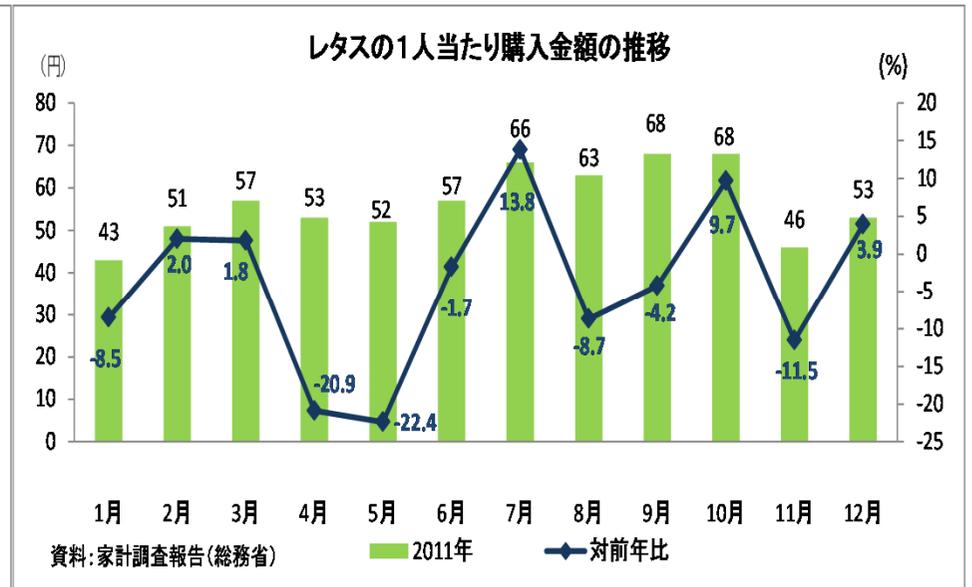
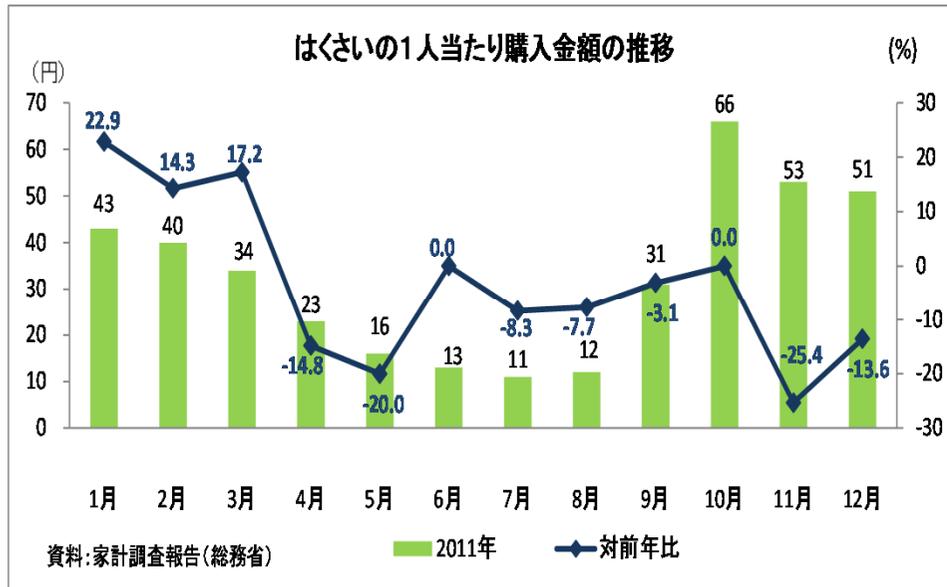
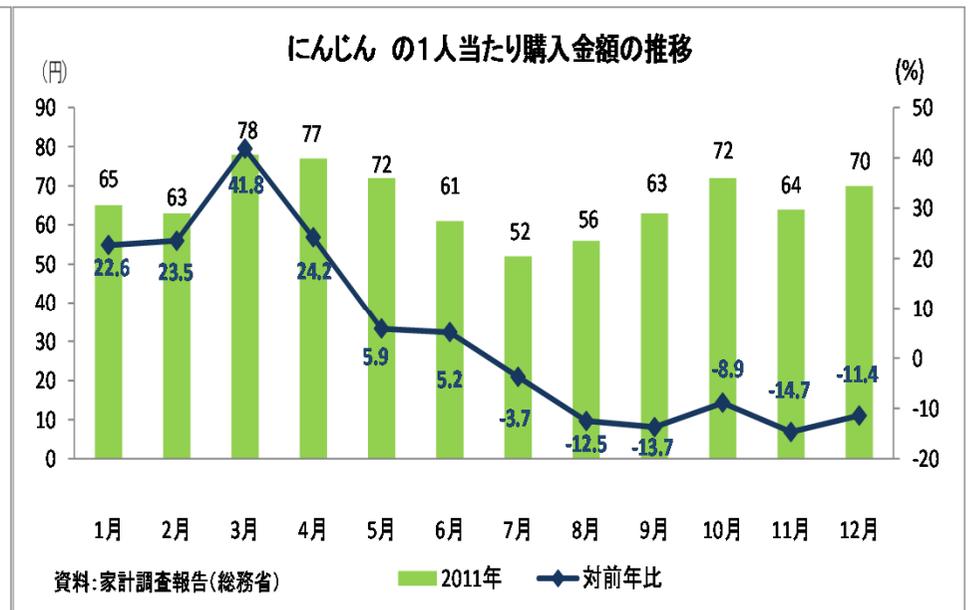
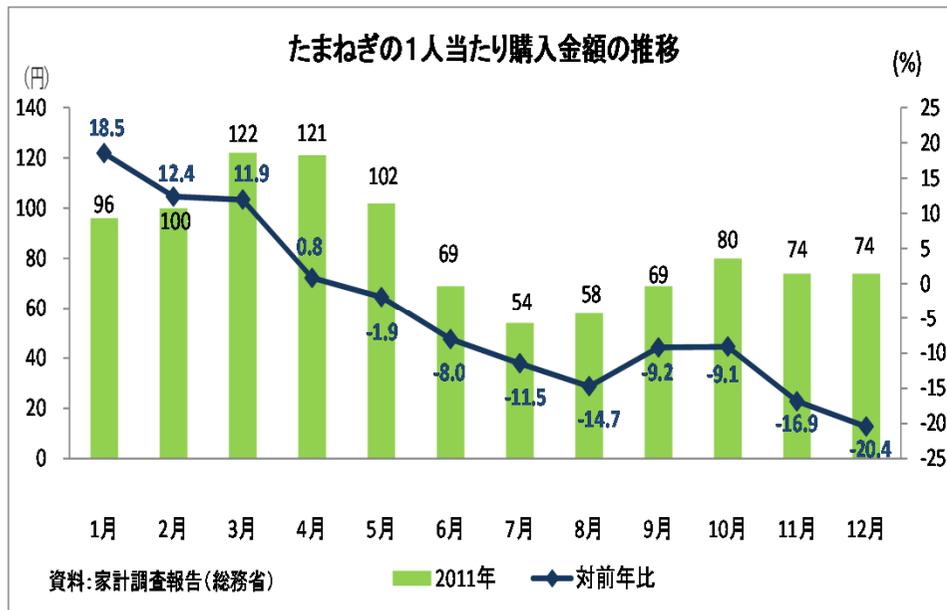
■ 10年

■ 11年

② 1人あたり購入金額の推移(家計調査報告)

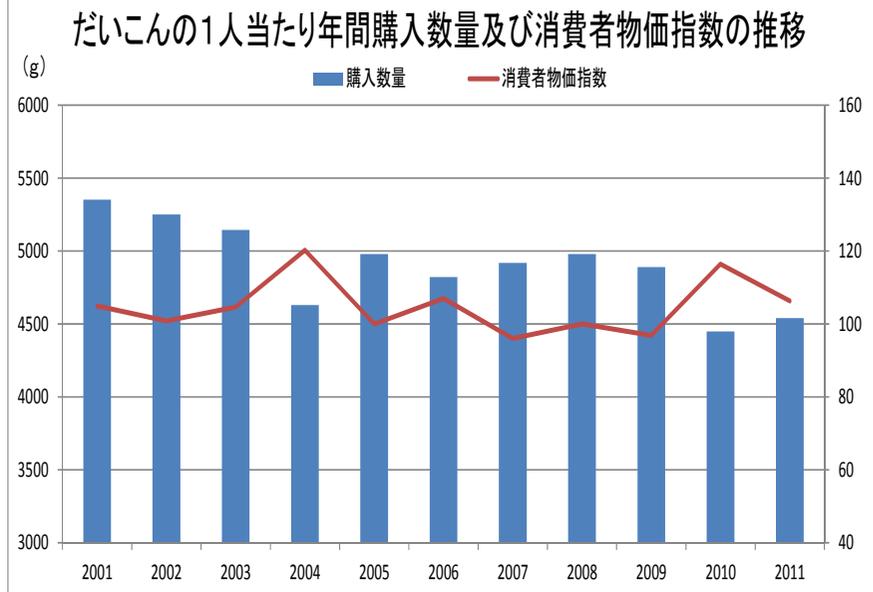
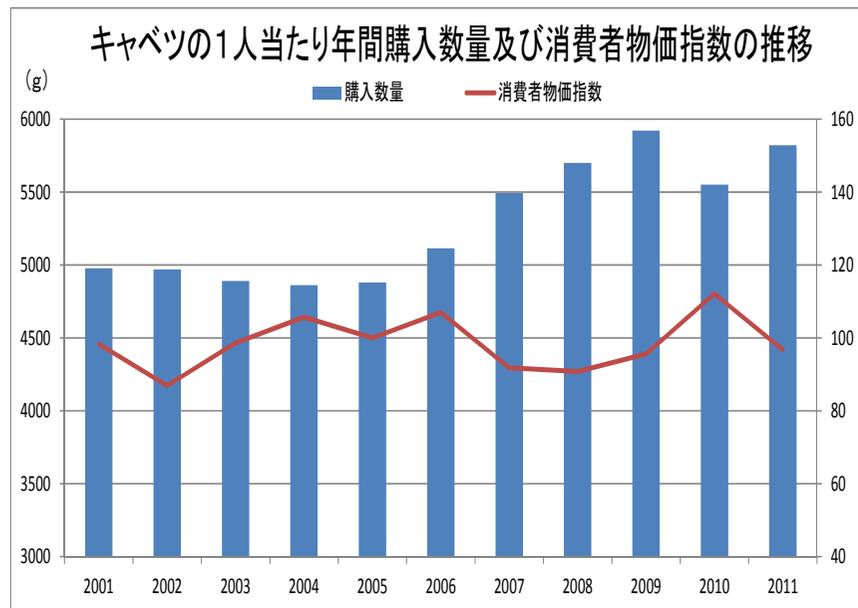
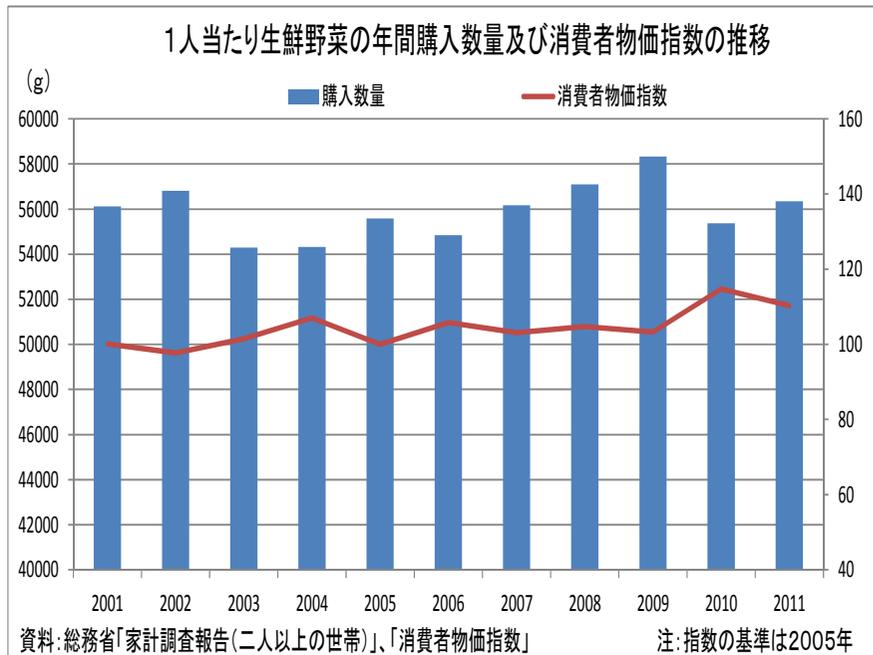
- ・生鮮野菜全体の購入金額を見ると、4月から6月までは、春野菜の価格が高騰した前年をかなり下回って推移。
- ・その後、7月に前年を上回るが、8月以降、再び前年を下回って推移。
- ・特に、11月は、卸売価格が低迷したことにより、全品目で前年をかなり下回った。
- ・品目別には、だいこんやはくさいの購入金額が夏場に減少する傾向にある。



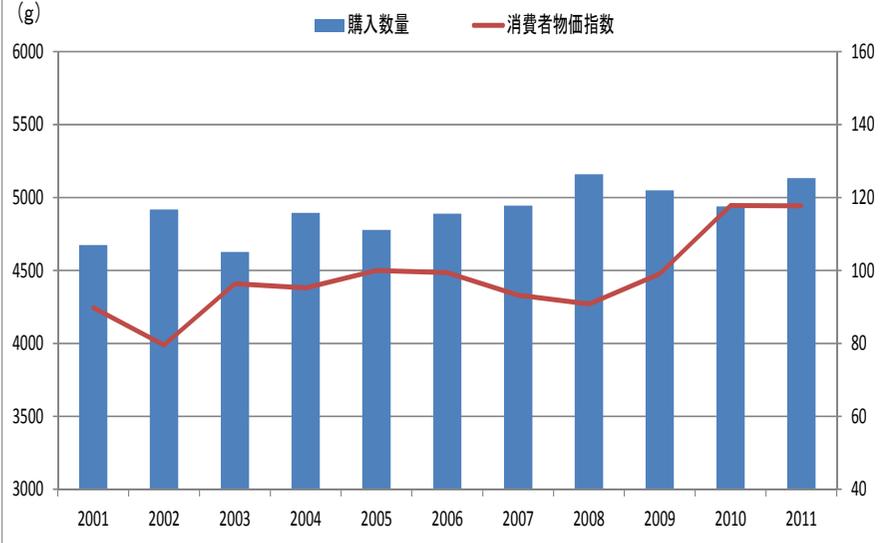


③ 過去10年における1人当たり年間購入数量等の推移(家計調査報告、消費者物価指数)

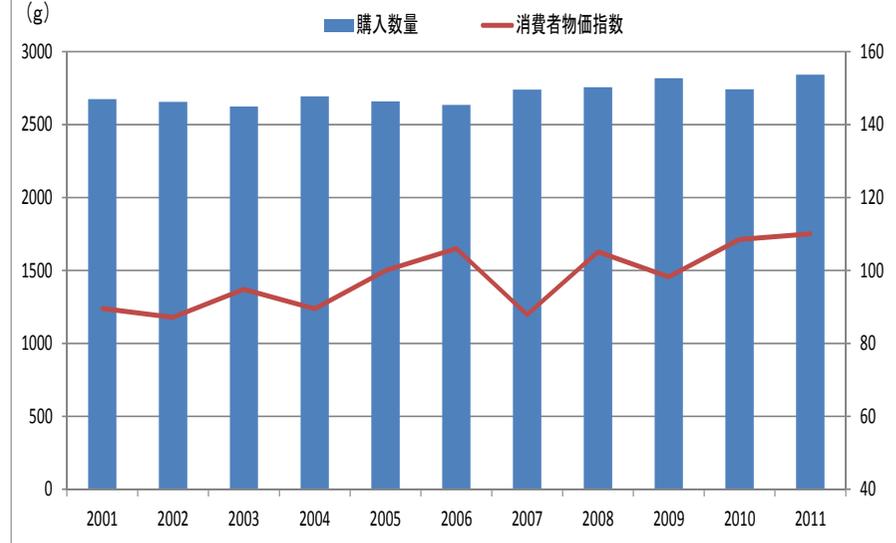
- ・生鮮野菜の1人当たり年間購入数量は、年によって変動が見られるが、消費者物価指数とは、概ね逆の動きが見られる。
- ・品目別に見ると、キャベツは増加傾向となっており、特に60歳以上の年齢階級で増加している。また、だいこんは減少傾向で推移しており、特に50歳以上の年齢階級で減少幅が大きい。
- ・また、キャベツと比較し、だいこんは49歳以下の年齢階級の購入数量が極端に少ない。



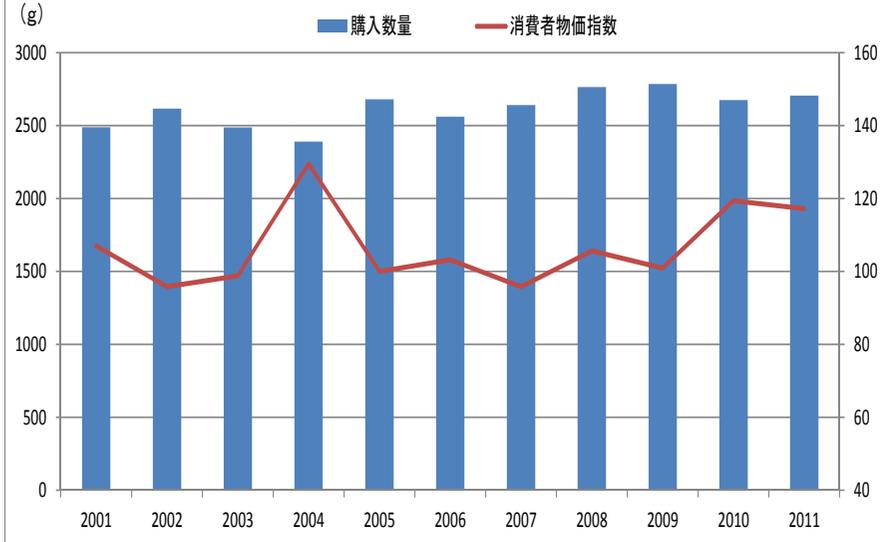
たまねぎの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



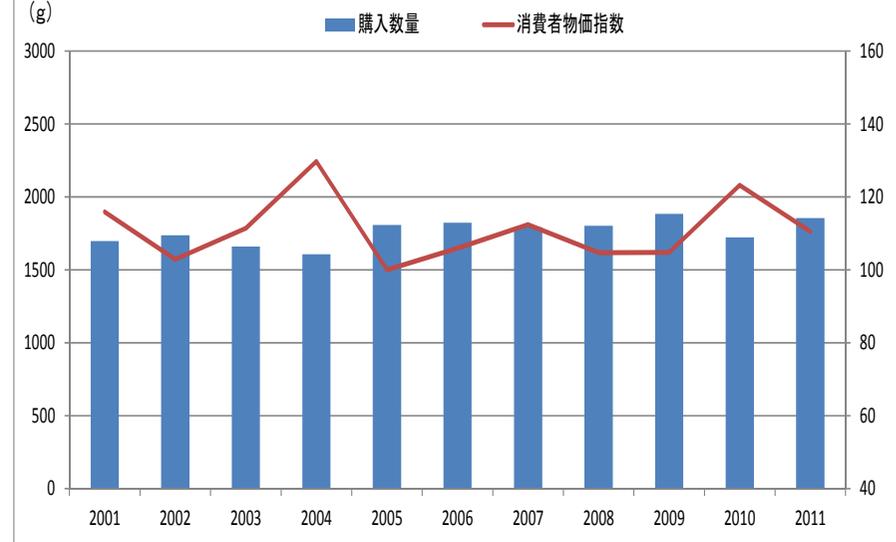
にんじんの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



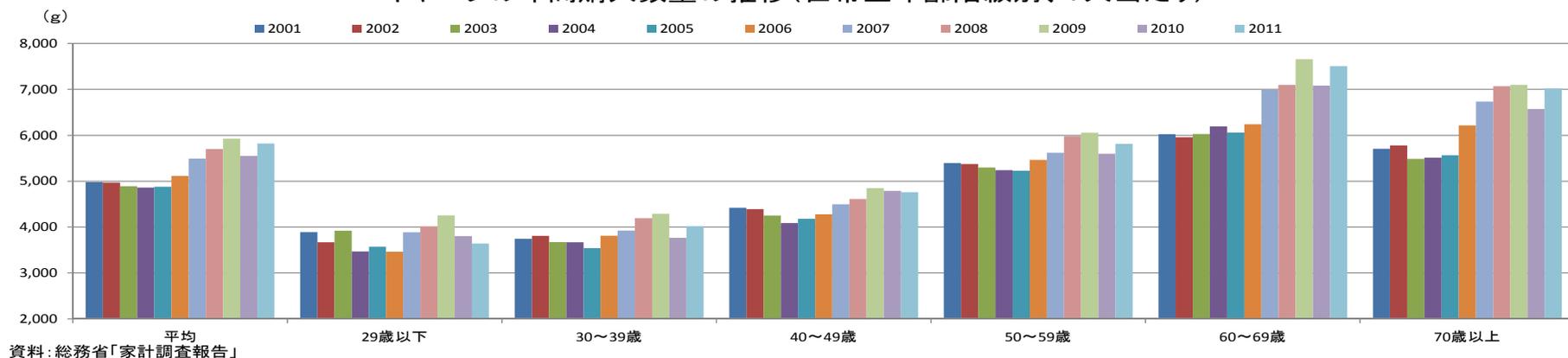
はくさいの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



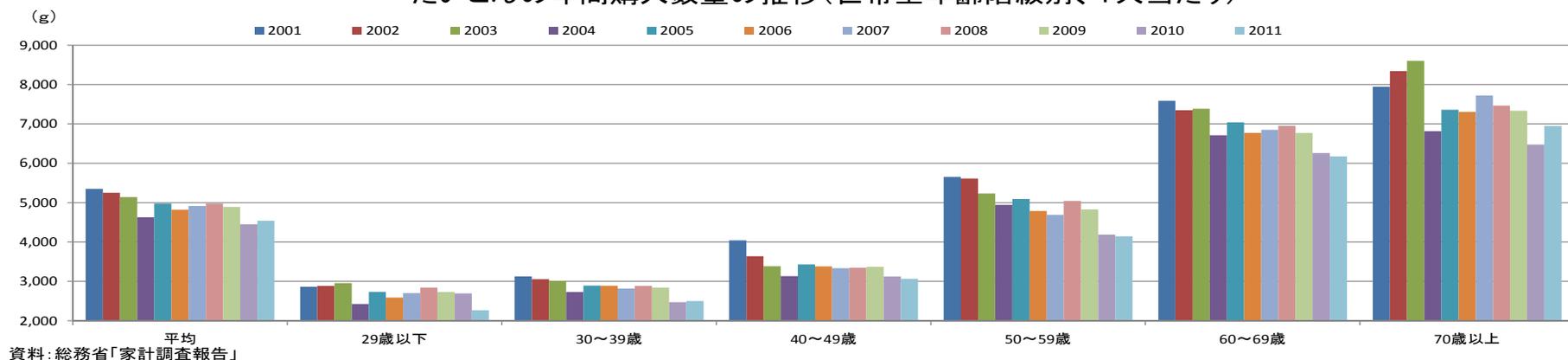
レタスの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



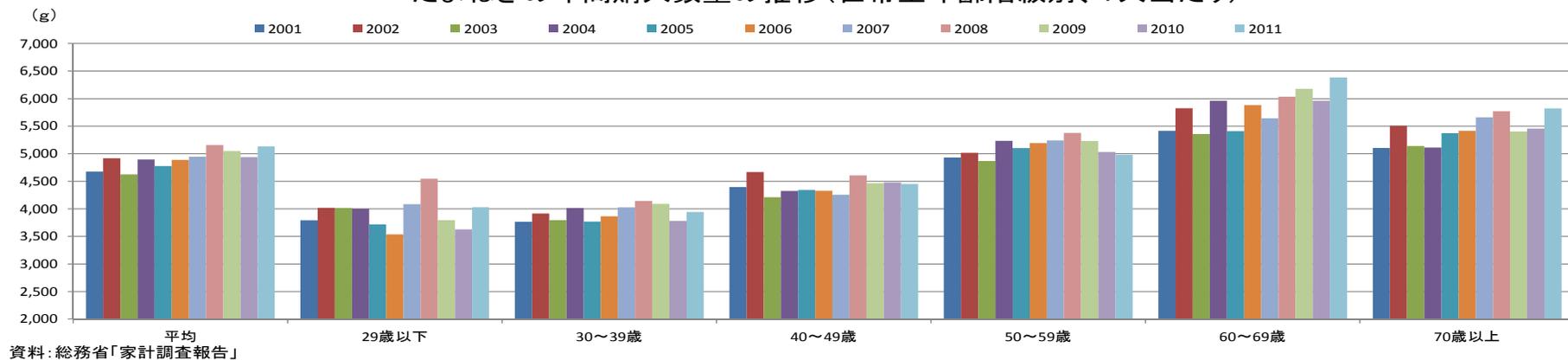
キャベツの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



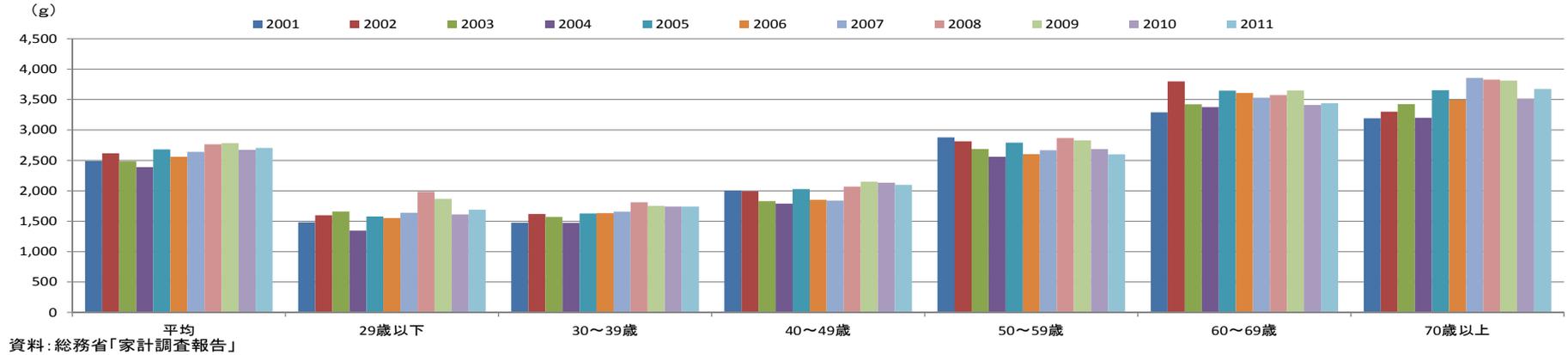
だいこんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



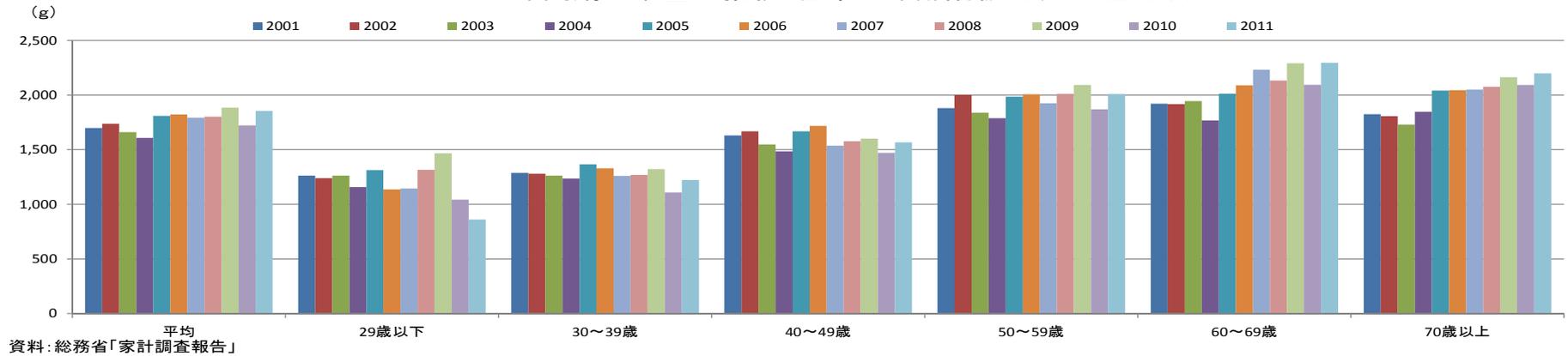
たまねぎの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



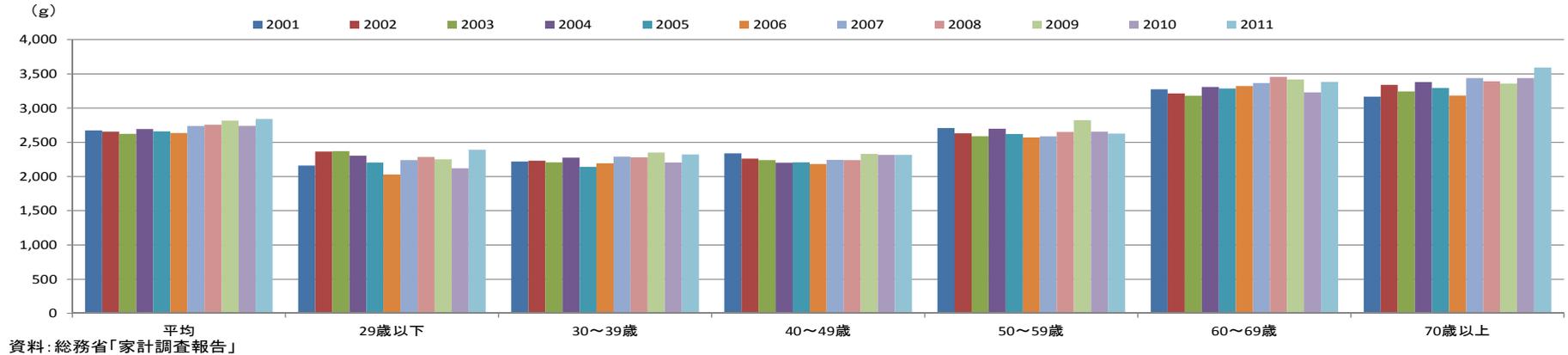
はくさいの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



レタスの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



にんじんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



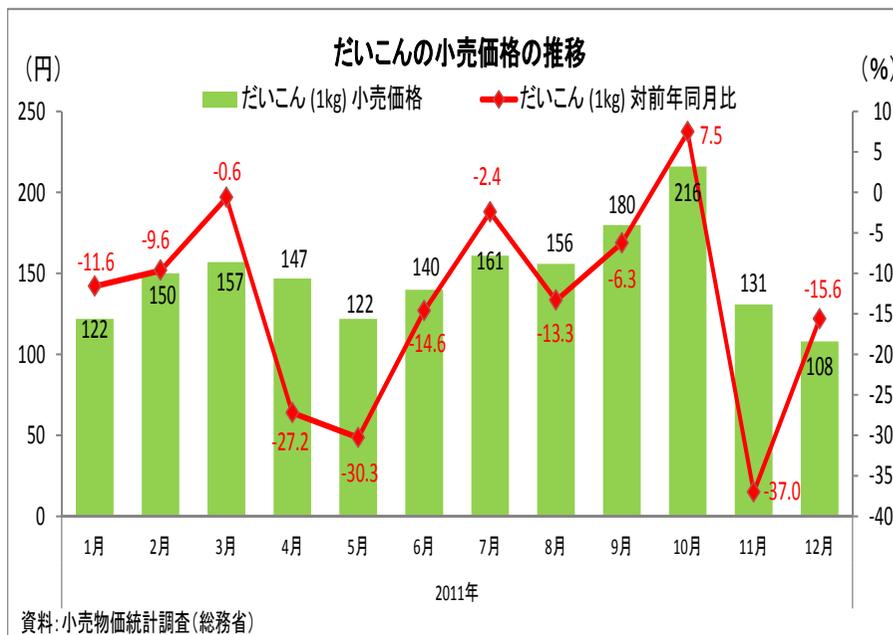
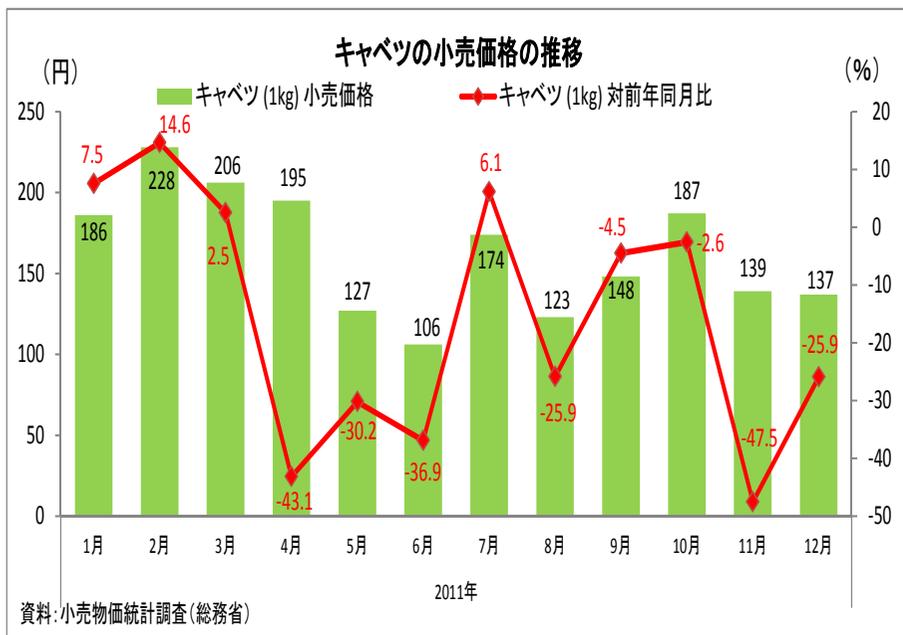
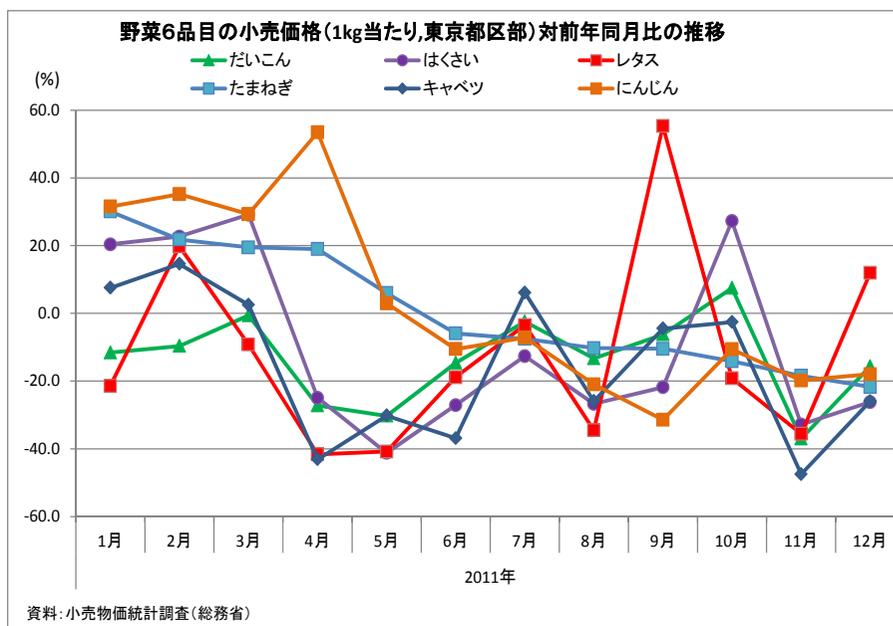
④ 小売価格の推移(東京都区部、小売物価統計調査)

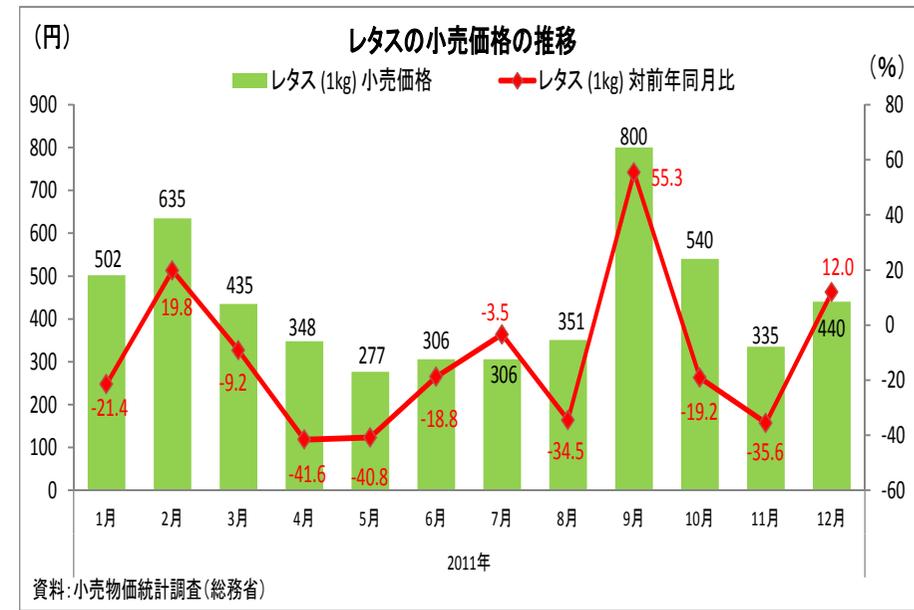
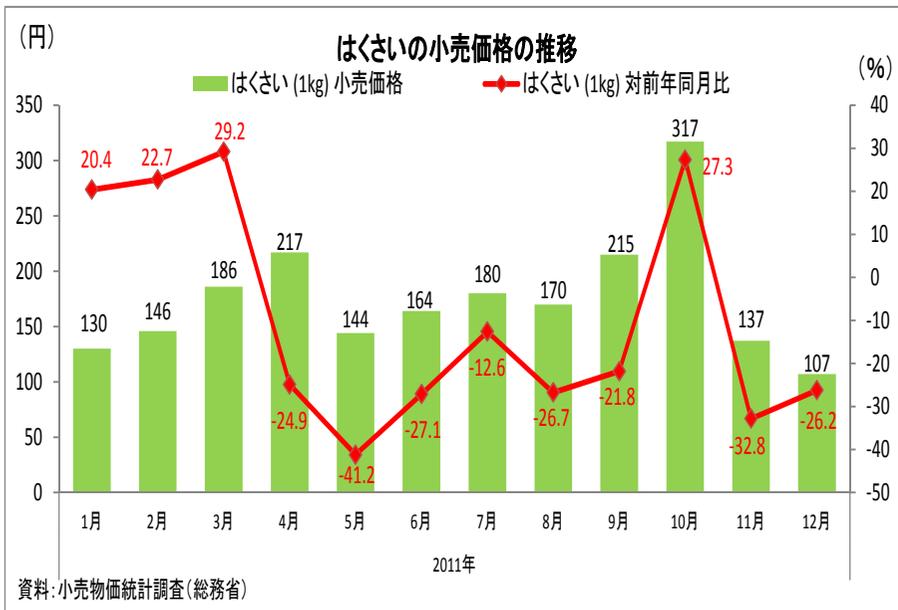
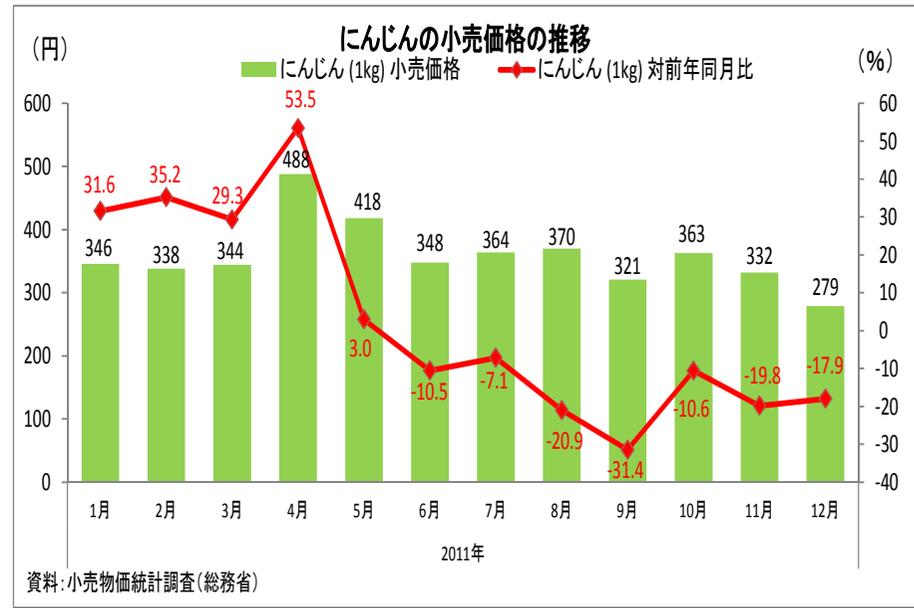
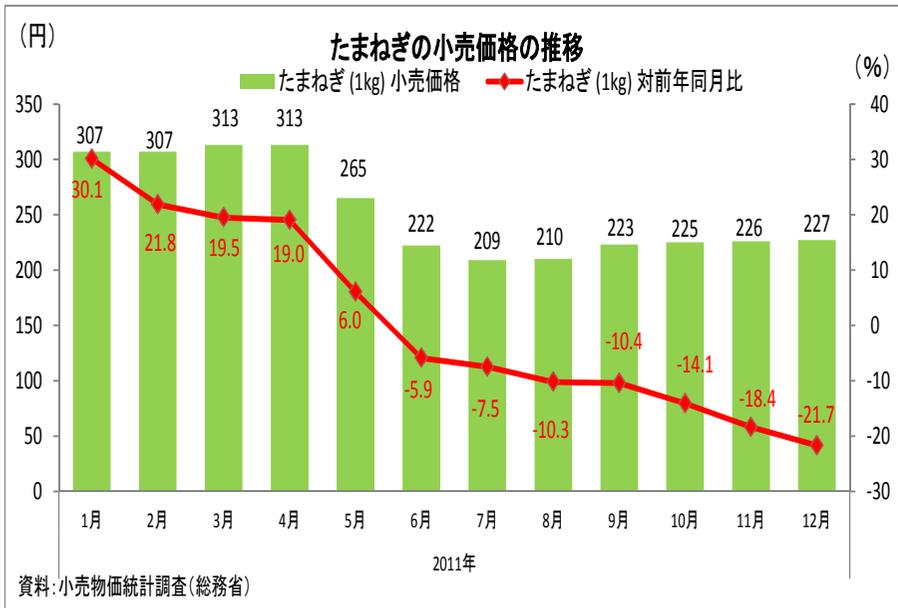
・キャベツ、だいこん、はくさい、レタスは、一昨年、春野菜の価格が高騰した影響により、4月から6月までは前年を大幅に下回った。

また、レタスは、降雨及び台風の影響で9月に価格が高騰した。はくさいは、降雨の影響により、10月に価格が高騰した。

・たまねぎは、2年連続で主産地が天候不順であったことを受け、5月まで前年を上回って推移したが、6月以降、佐賀産・兵庫産の豊作を受け、前年を下回って推移。9月以降も、北海道産の出荷が不作であった前年を上回ったことから、価格は前年を下回って推移。

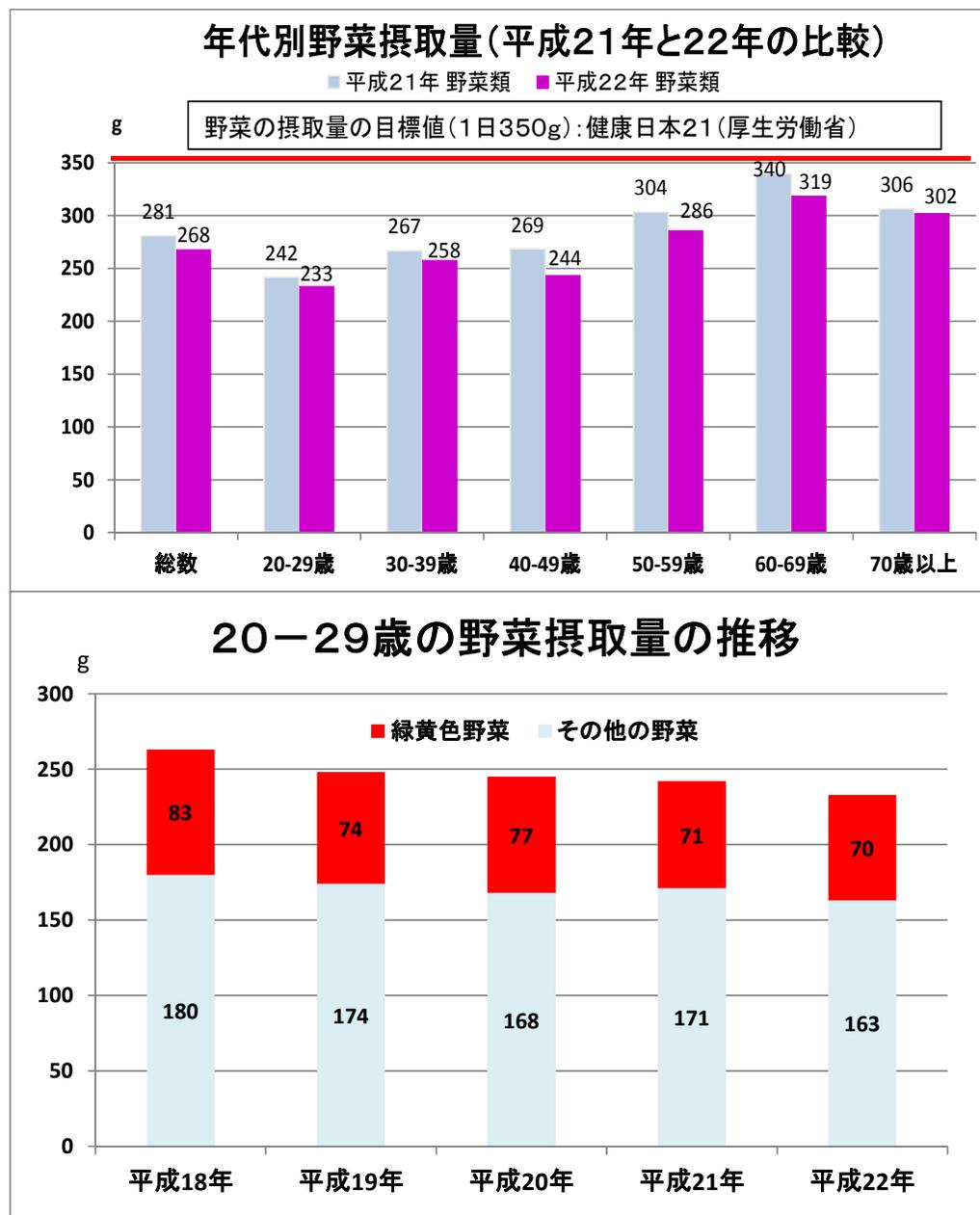
・にんじんは、主産地の天候不順により、5月までは高値で推移したが、6月以降は出荷が順調となり、前年を下回って推移。





⑤ 野菜の年齢階級別摂取量(国民健康・栄養調査)

- ・平成22年における成人1人1日当たりの野菜摂取量は、全世代において前年を下回った。依然として、20代、30代、40代の摂取量が少ない水準となっており、特に40代の摂取量の減少が著しい。
- ・摂取量が一番少ない20代の野菜摂取量は年々減少傾向が続いている。



資料:厚生労働省「国民健康・栄養調査結果」

⑥ 業務用需要の推移

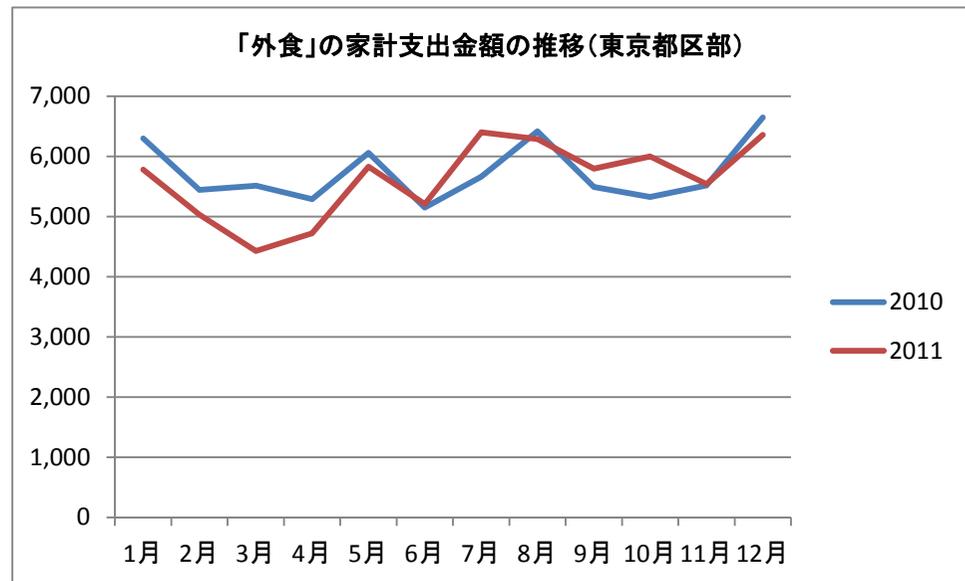
—震災の影響で減退していた外食需要は回復—

(ア) 家計調査報告における「外食」の家計支出の推移

●震災等の影響により減退していた1人当たりの「外食」に対する家計支出金額は、5月以降回復基調となったが、12月は年末需要があったものの、前年比はやや減少(94%)。

家計調査(東京都区部)

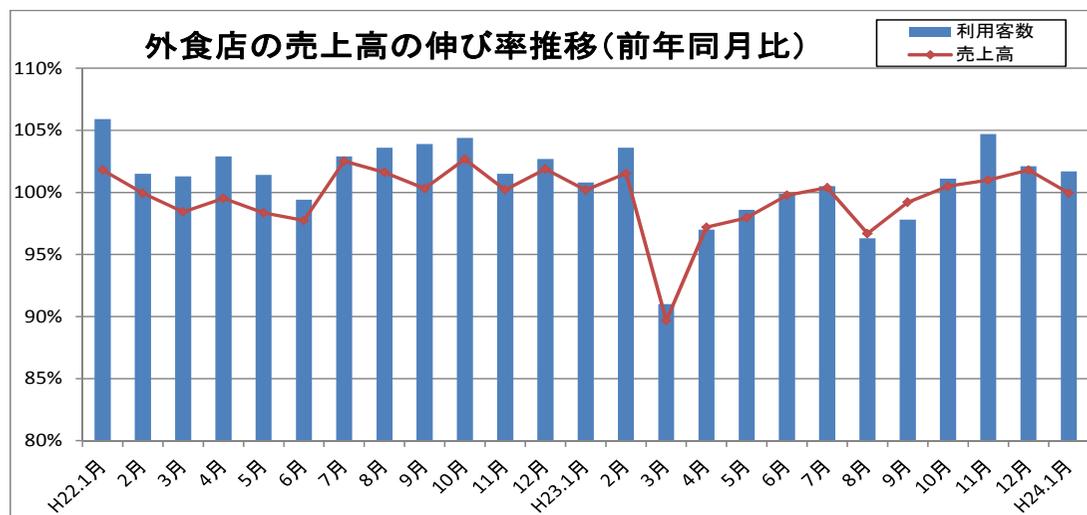
品目分類	H22.12支出金額	H23.12支出金額	対前年同期比
世帯人員	3.07	3.00	—
消費支出	353,807	361,383	102%
食料	93,907	98,270	105%
外食	20,401	19,080	94%
消費支出に占める割合(%)	5.8	5.3	92%
食料に占める割合	21.7	19.4	89%



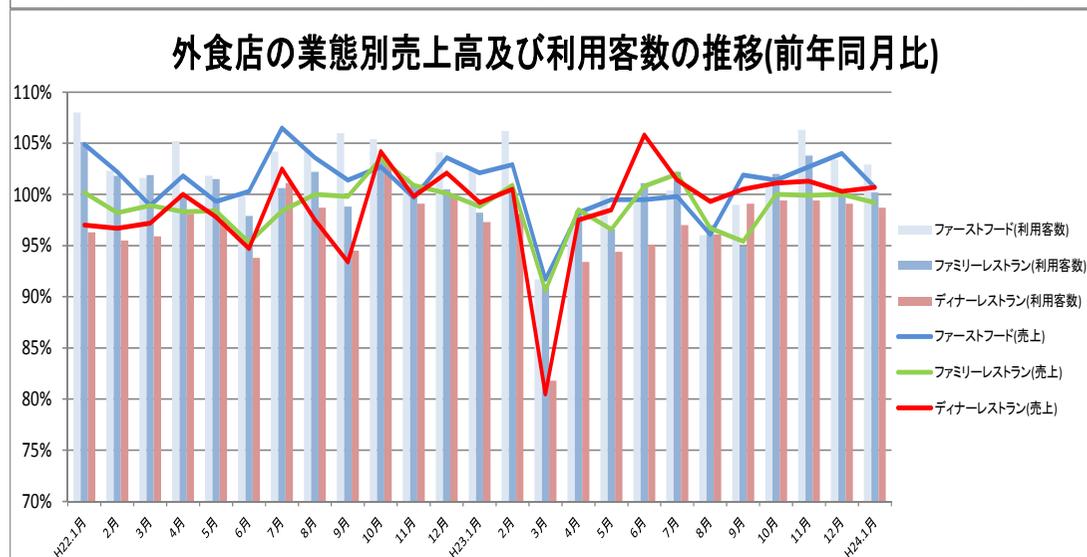
資料：総務省：家計調査(二人以上の世帯、東京都区部・全国)

(イ) 外食店の売上高及び利用客数の推移

●10月以降、外食店の利用客数は前年を上回り、売上高は前年並み又は上回って推移。



外食店の利用客数、売上高は、節電等の影響で8月及び9月に低迷したが、10月以降、利用客数は4か月連続で前年を上回り、売上高は3か月連続で前年を上回った後、1月は前年同月比100.0%となった。



業態別に見ると、ファーストフードは、売上高が9月以降、利用客数が10月以降、前年を上回って推移している。ファミリーレストランは、10月以降利用客数、売上高ともに前年を上回っていたが、1月は売上高が前年を下回った。また、不振であったダイナーレストランは、売上高は9月以降前年を上回っているが、利用客は依然前年を下回って推移している。

資料：社団法人日本フードサービス協会「全店時系列データ」

⑦ 今後の天気

1. 向こう1ヶ月(2月25日～3月24日)

- ・気温は、2週目は北・東・西日本では気温が高くなる見込みで、3～4週目は、北日本で平年並みか高くなり、東・西日本では平年並みの見込み。
- ・降水量は、北・東日本の日本海側では平年並みで、北日本の太平洋側及び西日本の日本海側では平年並みか多くなり、また東・西日本の太平洋側では多くなる見込み。

2. 3月～5月

○ 3月

- ・気温は、北・東・西日本では平年並みか高くなる見込み。
- ・降水量は、北日本及び東日本の日本海側では平年並みで、東日本の太平洋側及び西日本の日本海側では多くなり、また西日本の太平洋側では平年並みか多くなる見込み。

○ 4月

- ・気温は、北日本では平年並みか高くなり、東・西日本では平年並みとなる見込み。
- ・降水量は、北・西日本では少なくなり、東日本では平年並みとなる見込み。

○ 5月

- ・気温は、北・東日本では平年並みか高くなり、西日本では平年並みとなる見込み。
- ・降水量は、北・東日本の日本海側では少なくなり、北・東日本の太平洋側及び西日本では平年並みとなる見込み。

3. 6月～8月

- ・気温は、北日本では平年並みで、東日本では高くなり、また西日本では平年並みか高くなる見込み。
- ・降水量は、北・東・西日本では平年並みの見込み。

4. エルニーニョ/ラニーニャ現象

- ・ラニーニャ現象が継続しているが、春までの間に終息する可能性が高い。
(ラニーニャ現象発生時の日本の冬(12～2月)の平均気温は、東・西日本で低い傾向がある。)

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成24年2月24日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(3月～5月)解説資料」(平成24年2月23日気象庁地球環境・海洋部)

「全般暖候期(6月～8月)予報解説資料」(平成24年2月23日気象庁地球環境・海洋部)

「エルニーニョ監視速報(No.233)」(平成24年2月10日気象庁地球環境・海洋部)

(参考)

◎1ヶ月(2月25日～3月24日)予報に見る確率

	気温(%)				降水量(%)			日照時間(%)		
	低	並	高		少	並	多	少	並	多
北日本	20:40:40			日本海側 太平洋側	30:40:30			30:40:30		
					20:40:40			40:40:20		
東日本	20:50:30			日本海側 太平洋側	30:40:30			40:30:30		
					20:30:50			50:30:20		
西日本	20:40:40			日本海側 太平洋側	20:40:40			50:30:20		
					20:30:50			50:30:20		
沖縄・奄美	20:40:40				20:40:40			40:40:20		

気温	1週目(%)			2週目(%)			3～4週目(%)		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	50	40	10	20	30	50	20	40	40
東日本	40	40	20	10	30	60	30	40	30
西日本	40	40	20	10	20	70	30	40	30
沖縄・奄美	20	50	30	10	20	70	40	30	30

◎3ヶ月(3～5月)予報に見る確率

気温	3か月			3月			4月			5月		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	20	30	50	20	40	40	20	40	40	20	40	40
東日本	20	40	40	20	40	40	30	40	30	20	40	40
西日本	20	40	40	20	40	40	30	40	30	30	40	30
沖縄・奄美	40	40	20	30	40	30	40	40	20	30	40	30

降水量		3か月			3月			4月			5月		
		少	並	多	少	並	多	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	40	30	30	30	40	30	40	30	30	40	30	30
	太平洋側	40	30	30	30	40	30	40	30	30	30	40	30
東日本	日本海側	30	40	30	30	40	30	30	40	30	40	30	30
	太平洋側	30	40	30	30	30	40	30	40	30	30	40	30
西日本	日本海側	30	40	30	30	30	40	40	30	30	30	40	30
	太平洋側	30	40	30	20	40	40	40	30	30	30	40	30
沖縄・奄美		40	40	20	30	40	30	40	40	20	30	40	30

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成24年3月24日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(3月～5月)解説資料」(平成24年2月23日気象庁地球環境・海洋部)

◎ 暖候期予報(6月～8月)に見る確率

		気温 (%)			降水量 (%)			梅雨降水量 (%)		
		低	並	高	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	30	40	30	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	30	40	30	30	40	30	30	40	30
東日本	日本海側	30	30	40	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	30	30	40	30	40	30	30	40	30
西日本	日本海側	20	40	40	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	20	40	40	30	40	30	30	40	30
沖縄・奄美		20	40	40	30	40	30	30	40	30

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般暖候期予報解説資料」(平成24年2月23日気象庁地球環境・海洋部)